

# 北海道浮魚ニュース

平成 24(2012)年度 9 号

2012 年 7 月 23 日

道総研 水産研究本部  
釧路水産試験場

ホームページ : [http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki\\_index.htm](http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki_index.htm)

## 第 1 回太平洋スルメイカ長期漁況予報発表される

7 月 20 日に平成 24 年度第 1 回太平洋スルメイカ長期漁況予報文が、水産庁より発表されました。詳細な予報文は下記のホームページに掲載されます。

※水産庁報道発表資料 URL : <http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/>

独立行政法人水産総合研究センターURL : <http://hnf.fra.affrc.go.jp/>

### 今後の見通し (2012 年 7~9 月)

対象魚種 : スルメイカ

予測海域 : 道東太平洋海域、  
津軽海峡~道南太平洋海域、  
常磐~三陸海域

対象漁業 : いか釣り、底曳網、定置網、まき網

対象魚群 : 冬季発生系群 (2012 年級群)

#### ● 道東太平洋海域 (いか釣り、底曳網)

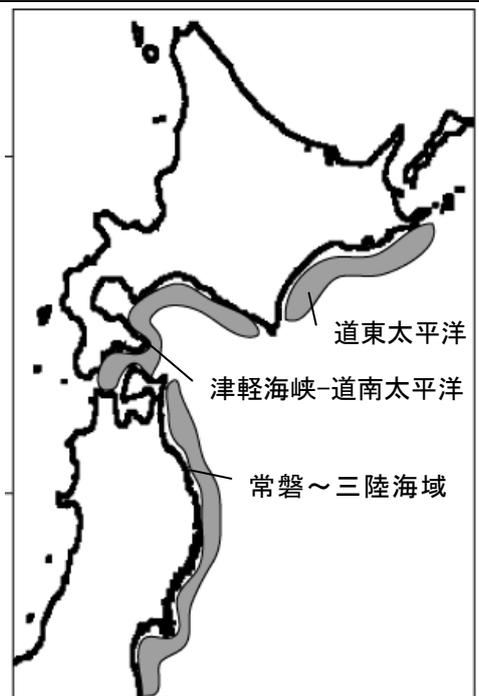
- ・ 来遊量 : 前年を下回る。
- ・ 漁期・漁場 : 漁場形成は前年より遅い。
- ・ 魚体 : 前年並み。

#### ● 津軽海峡~道南太平洋海域 (いか釣り、定置網)

- ・ 来遊量 : 前年を下回る。
- ・ 漁期・漁場 : 対象期間を通じて漁場となる。
- ・ 魚体 : 前年より小さい。

#### ● 常磐~三陸海域 (いか釣り、底曳網、定置網、まき網)

- ・ 来遊量 : 前年を下回る。
- ・ 漁期・漁場 : 対象期間を通じて漁場となる。
- ・ 魚体 : 前年より小さい。



※ 今年 6 月の太平洋スルメイカ漁場一斉調査の結果、スルメイカは日本沿岸から太平洋の沖合まで広く分布していました (図 1)。調査海域全体の分布密度は前年を下回り (図 2)、津軽海峡~道南太平洋 (北緯 41° 以北、東経 143° 以西) および沖合域 (東経 143° 以東) それぞれの分布密度も前年を下回りました。このことから、来遊量は前年を下回る予想となっています。

スルメイカの大きさは、津軽海峡~道南太平洋海では水揚げ物のサイズ組成から、前年より小さい。道東太平洋海域では調査の沖合域が前年並であったことから (図 3) 前年並みの予想です。

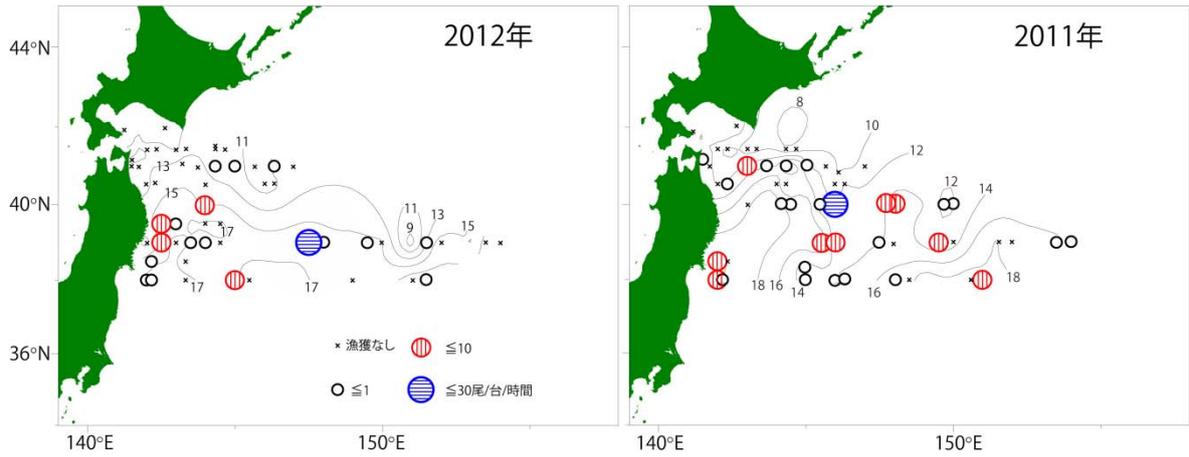
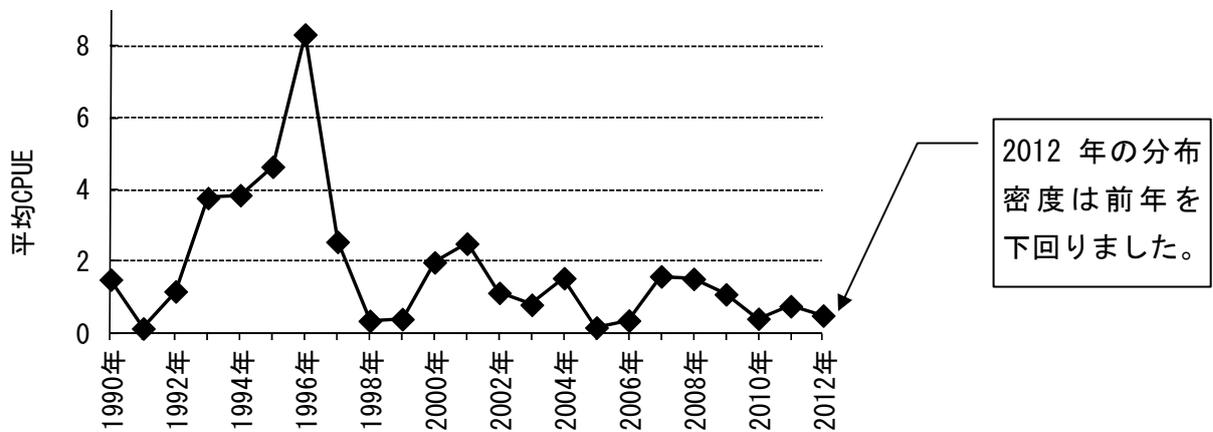


図1 2012年6~7月の太平洋漁場一斉調査におけるスルメイカの分布密度



※分布密度はCPUE(イカ釣機1台1時間当りの平均漁獲尾数)で示した。

図2 6月の太平洋漁場一斉調査における調査海域全体のスルメイカの分布密度

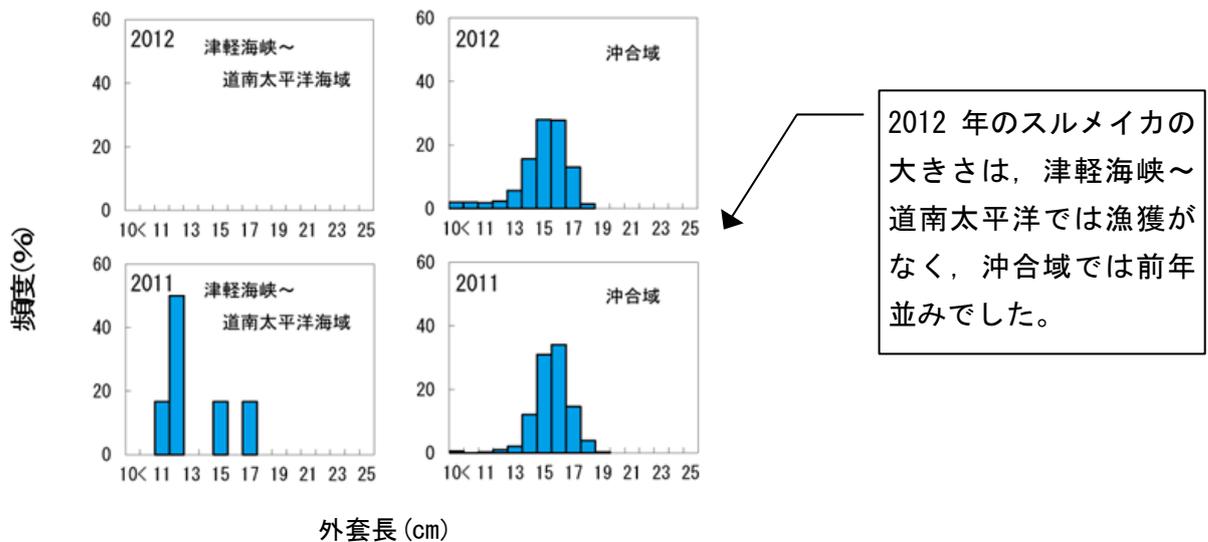


図3 6月の太平洋海域におけるスルメイカの外套長組成 (注: 沖合域は東経143°以東)

注) 図やその元データは平成24年度第1回太平洋スルメイカ長期漁況予報会議資料より。

(文責: 釧路水産試験場 調査研究部, TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225)